

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は2015年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

## 2 練習について

- ① 砲丸投の練習は補助競技場で行うこと。円盤・ハンマー・やりの練習は、アクアウィング横の多目的運動広場にて行うこと。ウォームアップ係の指示に従い、決められた場所以外での練習は絶対にしてはならない。競技会の時間以外は必ず顧問が付き添うこと。
- ② 棒高跳の1日目の練習は、本競技場で14:00～競技終了まで実施することができる。なお、準備等は出場選手で行うものとする。

## 3 競技場について

競技場（含補助競技場）は全天候舗装のためスパイクのピンはすべて9mm以下の平行ピンとする。ただし、走高跳・やり投は12mmを超えてはならない。

## 4 招集について

- ① 招集場所は、100mスタート付近のダッグアウト内に設置する。
- ② 招集完了時刻は、トラック競技は20分前、フィールド競技は40分前、但し男女の棒高跳は60分前とする。
- ③ 棄権する場合は、招集所に申し出ること。
- ④ 他の種目と兼ねて出場する者は、その旨競技者係及び審判員に申し出て、競技進行に支障のないようにすること。
- ⑤ リレー種目に出場するチームは、各ラウンドともオーダー用紙に必要事項を記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- ⑥ 混成競技の招集は、両日の第1種目目は一般種目の招集と同様に、招集所で最終確認を受ける。第2種目以降は、トラック競技が開始20分前までに、フィールド競技は30分前までに混成控室に集合のこと。
- ⑦ 招集時間に遅れた者は、棄権とみなして出場を許可しない。

## 5 競技について

- ① トラック競技のフライング失格は、2回目以降とする。
- ② ナンバーカードは、胸・背各部に取り付ける。ただし、跳躍種目は胸・背のどちらかでもよい。ナンバーカードのない者は出場できない。
- ③ 4×400mRのアンカーおよび800m以上の種目は腰ナンバーカードを、3000m以上の種目は通し胸背部ナンバーカードを付けるので、1時間前に招集所で受け取る（ただし、通しナンバーを受け取ったことで招集が完了したわけではない。）
- ④ 棒高跳用のポール以外の用器具は競技場備えつけのものを使用する。競技場内へは練習用といえども個人の器具を持ち込んではいならない。
- ⑤ 走高跳は、Aピット（第2曲走路内側100mスタート側）・Bピット（第2曲走路内側200mスタート側）に設置する。また、走幅跳はAピット（ホームストレート側）・Bピット（バックストレート側）の2か所で行う。
- ⑥ 出場する選手、競技役員、補助員以外は競技場内へはいらないこと。
- ⑦ リレー用のマーカーは各チームで用意すること。終了後は撤去すること。
- ⑧ リレー出場者は各チーム同一色のユニフォームを着用するものとする。
- ⑨ 混成競技は、トレーニングルームに控室を設けるので、各競技の間、待機してもよい。2種目以降の集合は、混成控室とする（前述4の⑦）。
- ⑩ 三段跳の踏切板は砂場より11mの位置に設置する。
- ⑪ フィールド競技は試技を命ぜられてから、以下の時間内に試技を開始しなければならない。

残っている 競技者数	単独種目			混成競技	
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	その他
4名以上	1分	1分	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒	1分
1人	3分	5分	—	2分	2分
連続試技	2分	3分	2分		

- ⑫ 競技者は、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。ビデオ等による助言は認めるが、競技者が視聴可能なコーチングエリアとする（審判員の指示に従う）。また、ビデオのつりさげや手渡し、競技者が視聴の為に当該競技エリアから離脱することは認められない。招集所や競技場内でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり競技終了後返却する。
- ⑬ 予選・準決勝においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者がでたとき(以下同タイム者という)は、下記の方法で決定する。
  - (ア) 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者については、レーンに余裕がある限り次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕のない場合は判定写真を拡大し、細部（電気計時2/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
  - (イ) 1500m・3000mSCの同タイム者は、次のラウンドに進むことができる。

6 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

【男子】	練習		試技									
	練習	試技	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	1.98	2.01	・・・
走高跳	1.60/1.80	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	1.98	2.01	・・・	
走高跳（混成）	A	1.35/1.60	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	1.76	・・・
	B	1.35/1.60	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	1.76	・・・
棒高跳	2.60/4.00	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.70	3.80	3.90	・・・		
【女子】	練習		試技									
	練習	試技	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	・・・		
走高跳	1.30/1.50	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	・・・			
走高跳（混成）	A	1.10/1.35	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.43	1.46	・・・	
	B	1.10/1.35	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.43	1.46	・・・	
棒高跳	2.00/2.80	2.20	2.40	2.60	2.70	2.80	・・・	・・・	・・・	・・・		

- ・同記録で順位決定の必要がある場合（1位と北信越新人大会への出場権）は、バーの上げ下げを走高跳は2cm・棒高跳は5cmとする。
- ・天候等により、審判長判断で高さの変更もあり得る。

7 学校対校について

男女別学校対校とし、男女別種目の合計点によって学校順位を決定する。（同点の場合は上位入賞者の多い学校を上位とする。）入賞者の得点は1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。

8 表彰について

- ① 各種目8位までの入賞者に賞状を授与する。入賞者は、競技が終了し、結果のアナウンス後、すみやかに正面スタンド下の表彰者控え所に集合のこと。
- ② 男女共、総合得点優勝校には優勝杯と賞状を、2・3位校には賞状を授与する。

9 北信越大会への出場について

- ① 上位4名（4チーム）の者は北信越大会への出場資格を得る。1種目1校3名以内、1人2種目以内とし（リレーは別）リレーは1校1チーム6名以内とする。辞退者が出た場合、8位入賞者から順次繰り上げをする。
- ② 北信越大会出場権取得者は、大会終了日までに本部へ参加料1人2000円を添えて各校まとめて申込をする。

10 応援・テントの設営について

- ① メインスタンドでの集団連呼応援は禁止とする。またフィールド競技中付近の芝スタンドでの集団応援はしないこと。
- ② 各校選手休憩場所の確保は、顧問申し合わせ事項に従い実施する。競技場は3日間とも午前7：30開場。

11 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。その後の処置については、各学校の引率者の責任において対処すること。

12 その他

- ① 競技者の服装・身なり・態度は、高体連の競技者の心得に準ずるものとし、高校生らしい態度で臨むこと。
- ② 貴重品は各自保管すること。ゴミ等は各自が責任をもって持ち帰ること。
- ③ ペットボトルを競技場内に持ち込む場合は、ラベルをはがすこと。